

教育の窓



実りの秋：「第2回教育委員会訪問」を行いました

11月に、教育委員5名と教育委員会事務局4名で、各学校を訪問しました。この訪問では、各学校の教育活動の成果や課題を確認し、児童生徒の生活や学習状況を把握してきました。どの学校も校長先生の経営方針が明確であり、特色ある教育活動が展開されていました。

訪問を通して教育委員が目にしたのは以下の3点です。①児童生徒が落ち着いて学習に取り組んでいること。②どの教職員も一人ひとりの児童生徒を大切に、個に応じた指導を心がけていること。③地域の自然や人材を活かした教育活動を行っていること。

また、どの学校も「いじめのない学校」づくりに、重点を置いていました。日常生活では心と心の通い合う生活を心がけ、全校で「ひびきあい集会」を設けたり、講師を招いて命の尊さを学ぶなどの活動を行っています。

さらに、一人ひとりに「確かな学力」を身につけるための手立ても見る事ができました。個々の学習の習熟度に応じた少人数指導、教材や教具の工夫、家庭学習の充実や生活習慣の定着に向けた取り組みなどです。

八百津町には現在882人の児童生徒がいます。教育委員会では、どの子も、夢や目標を持ち、その実現に向かって努力できるよう一層支援していきたいと考えています。



改修された綺麗な校舎
錦津小学校参観



一緒に給食をいただきました
潮見小給食風景

地域のみなさま、教育活動へのご支援をお願いします

現在、各学校の教育活動は「地域とのつながり」を大切にしています。それは「地域を知り、地域を学ぶ」活動を通して、地域に誇りや愛着を持ったり、生き方を学ぶことができるからです。地域には学習できる生きた教材（自然、歴史、伝統、人材）がたくさんあります。

そこで、教育委員会では、地域のみなさまの「ワンコインボランティア」を推奨しています。現在では、体験活動、読み聞かせ、伝統芸能、将棋クラブなどさまざまな内容で学校への支援をいただいています。こうした方々に、ワンコインの図書券を1単位時間あたりでお支払いしています。地域のみなさ

まが培ったお力を、是非、八百津町の子どもたちの教育活動にご支援ください。

【学校紹介】 八百津小学校

『教職員の専門性を活かした教科担任制の導入を核とした学力向上の取り組み』

八百津小学校では、岐阜県教育委員会の指定を受け、本年度から3年生～6年生において、段階的に教科担任制を導入しています。学級担任制のよさを活かしつつ、一部教科について教職員の専門教科や得意とする教科を指導することで、

- ・一人一人の学び意欲が向上し、学力の向上につながる。
 - ・複数の教員が子どもたちと関わることで、幅広い児童理解ができる。
 - ・教職員がお互いに学び合うことで指導力の向上ができる。
 - ・中学校進学時に、円滑に移行することができる。
- こうした効果が期待できると考えています。

そして、アンケート調査でも、子どもたちからは、「以前より勉強がよくわかるようになった。」「たくさんの先生と話をする機会が増えてよい。」「これからも教科担任制を続けてほしい。」「また、保護者の方からは、「専門性を活かした授業が学力向上にもつながる期待感を持っている。」「多くの先生と接し、子どものことを知っていただけると良いと思う。」などの賛成する声がたくさん聞こえています。

まだまだ取り組みは始まったばかりですが、『わかった！できた！』と、どの子もいえるような授業作りをめざしています。



<5年理科 ふりこのきまり より>



潮見小学校複式学級風景



電子黒板を使った八百津小授業風景